

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表:平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」富士宮校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令上十分なスペースを確保しており、3つの部屋を状況により使い分けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令上必要とされる人数より1名多く指導員を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			各々の特性に応じて視覚的な情報伝達を行っています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日ミーティングを行い、全職員が目標に対して現在の支援がどうであるか確認、提案できるようになっています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを実施し、その結果を共有し、改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページを開設し、評価及び改善内容を公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価はまだ受けておらず、検討しています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な内部研修を設けています。外部研修においても積極的に参加の機会を作っていきたいと思っています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に保護者様及び利用者様と面談を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			SDQ、NC プログラムを利用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援を行う主担当・副担当を決め、プログラム検討を行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			近況を確認し、支援を行っております。研修に積極的に参加し、より多くのアイデアを取り入れていきたいと思っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			アセスメントをもとに、曜日により順番や取り組むものを設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本個別として支援計画を作成していますが、アセスメントをもとに、集団が必要となる場合においては適宜組み合わせています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日ミーティング、報告会を行い、情報共有しています。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日ミーティング、報告会を行い、情報共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回支援記録を取るとともに、全員が支援記録を確認できるようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に面談、アセスメントを取ることにより、計画に見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			アセスメントをもとに、複数領域の計画を立て支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者の他、必要に応じて主担当の支援員が参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			ケース会議や学校見学を行い、情報の共有化に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在該当する利用者がおられないため、主治医の意見を尊重しながら、連携をとっていきたいと思います。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			主に保護者などへの聞き取りや支援報告などをもとにして情報を共有しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所を中心とした、福祉事業所の情報交換会や移行会議に出席し、情報提供を行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターへの訪問、見学を実施しております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			イベントなどを行い、地域の方も参加が可能な機会を作っています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			児童発達支援責任者の他必要に応じて指導員も参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回の支援後に相談を受け、時間を設けてアドバイスを行っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			毎回の支援後に相談を受け、時間を設けてアドバイスを行っています。
保護者への	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に書面とともに説明しています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			毎回の支援後のフィードバックの他、随時相談を受けつけ、別に時間を設けてアドバイスなどを行っています。

説明責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者向けのイベントの掲示をしています。研修や座談会といった形で事業所でも開催できるよう今後検討していきたいと思っています。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		事業所に受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問い合わせ窓口を設置しています。いただいた苦情に対しては、社内フォローを定め迅速かつ適切に対応しています。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報は随時持ち帰れるようにし、イベント等は掲示も合わせて行っています。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	○		個人場が書かれた書類はすべて鍵付きの部屋に保管しています。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お子様、保護者様の状態に応じて、視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等を実施しております。
非常時等の対応	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		イベントとしてどなたでも参加できる行事を行っています。
	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また、いつでも閲覧できるようになっているため、今後保護者様やご利用者様への周知を図ってきたいと思います。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回の避難訓練を実施しています。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		マニュアルを策定し、研修を実施しています。また、契約時に保護者様へ丁寧に説明しています。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		全てのお子様についてアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し、職員で共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 19 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」富士宮校 保護者等数(児童数)66(71) 回収数 52 割合 79%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	98	2		広い室内でのびのび授業ができてよい。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	98	2		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	74	22	4	畳やござ等座れる部屋があったらよい。スロープなど必要な方がいないようなので大丈夫だと感じる。 →畳など落ち着ける和の空間については今後検討していきたいと思います。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ¹ が作成されているか	98	2		細かく計画を立ててもらい、見直し期間も細かいのでできるようになったこと、継続の部分が分かりやすい。
	⑤	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	92	8		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	47	36	17	個別指導を希望なので。 →イベントなどを通じてだれでも参加できる機会を検討していきたいと思います。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96	4		変更があればすぐに説明してもらっている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	98	2		心配してもらったり、常に声掛けをもらえてありがたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	96	4		相談しやすい環境にあり困ったときは相談しようという気持ちになる。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	33	47	20	年に1度クリスマス会などで顔を合わせる機会はあるが、交流や連携はない。 →保護者会などに関しては研修や座談会といった形で行えるよう検討していきたいと思います。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	76	24		→疑問点やご意見など気軽に言えるよう、ご意見箱の設置をしていきたいです。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	96	4		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	53	47		自己評価は結果を聞いている。 →ホームページにて公開をしていますので、周知できるよう努めてまいりたいと思います。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	100			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	68	30	2	防犯マニュアルは聞いていないような気がする。 →マニュアル等についていつでも閲覧できるように、保管場所の周知をしていきたいと思います。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	44	48	8	地域内では1年に2回行っている。 利用者としての参加はない。 →行われた避難訓練について公開をしていきたいと思います。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	83	17		定期的には入れるようになってほしい。 自分から室内に入れるようになった。 回数を増やしたい。 →どなた様にも満足いただける支援回数が提供できるよう、きりり全体として検討したいと思います。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	96	4		心のケアがしっかりしていて心強い。 家ではなかなかできないことを指導してもらい、成長が見られ嬉しい。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

※回答の数字は全体に対する割合を100分率で表しています。

